

## 現在、脳内科では、バイオバンクご協力者からいただきました

### 試料・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。この研究ではご提供していただいた試料等を用いて解析し、データとしてまとめるものであり、ご本人またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身がバイオバンクに提供された試料・診療情報等を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合には、バイオバンク事務局（末尾）にてそのお申し出を受け付けておりますので、ご参加時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書をバイオバンク事務局までご提出いただくか、もしくはバイオバンク事務局までその旨ご連絡下さい。

#### 【研究課題名】

血管内皮を標的とした脳卒中、血管性認知障害の予防・治療法の探索

#### 【研究対象者】

2012年1月1日から2025年3月31日までの間に、脳内科で脳血管障害（無症候性脳血管障害を含む）のため入院、外来受診され、診断や治療を受けられた方

#### 【利用している試料・診療情報等】

（検体）血漿 1300 µl、血清 1000 µl、DNA 6 µg

血漿はレスベラトロールとその代謝産物血中濃度、midregional pro-adrenomedullin、血清は SIRT1 タンパク質、eNOS タンパク質量、アルブミン-アミロイドβ複合体、DNA は ApoE 遺伝子多型の測定のために利用します。Lp(a)・APOA-1・APOB については、血清または血漿を利用します。

（診療情報等）

- ① 共通項目：年齢、性別、生年月、発症日時、身長・体重・腹囲、内服薬、血圧、modified Rankin Scale (mRS)、NIH Stroke Scale (NIHSS)、既往症、喫煙・飲酒歴、家族歴、認知機能、血管内皮機能。
- ② 脳梗塞：診断、先行する一過性脳虚血発作の有無、CHADS2 スコア、画像診断、行った治療、入院中合併症
- ③ 一過性脳虚血発作(TIA)：回数、自覚症状、ABCD2 スコア、発症機序、画像診断、行った治療、入院中合併症
- ④ 脳出血：診断、画像診断、行った治療、入院中合併症
- ⑤ くも膜下出血：Hunt & Kosnik grade、画像診断、行った治療
- ⑥ 無症候性頭頸部動脈狭窄・閉塞症：画像診断、行った治療
- ⑦ 血球計数検査(白血球数、赤血球数、血小板数)、血液生化学的検査(Na, K, Cl, カルシウム、マグネシウム、総蛋白、アルブミン、AST、ALT、γGTP、CRP、尿素窒素、血清クレアチニン、尿酸、総コレステロール、LDL コレステロール、HDL コレステロール、トリグリセリド、脳性ナトリウム利尿ペプチド)、血液凝固検査(PT、APTT、D-dimer)

（頭頸部画像）

MRI/MRA、CT/CTA、<sup>15</sup>O ガス PET、頸動脈エコー

#### 【試料・診療情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

#### 【利用の目的】

---

#### 【バイオバンクでの試料・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした試料や診療情報等には特定の個人を直ちに識別できないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

電話：06-6170-1070（内線 21050）

E メール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp

血管内皮を標的とした脳卒中、血管性認知障害の予防・治療法を探索することを目的としています。

【遺伝子解析研究】（有）

【共同利用研究機関・共同利用責任者】

東和薬品株式会社 事業開発部 部長 立木秀尚 ほか  
名古屋工業大学 医用生体工学研究室 教授 中村匡徳  
国立病院機構紫香楽病院 薬剤部 薬剤科長 服部雄司（2024年1月30日まで）  
Turku 大学 Turku PET センター 教授 飯田秀博

【外部機関への情報等の提供】

（共同研究機関で情報を共有する場合）

・東和薬品株式会社

上記の血液試料と診療情報等を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人が直接特定できないようにします。

提供方法：直接手渡し、郵送・宅配、電子的配信（データ送付時にパスワードによるロックを行う）

・名古屋工業大学

頭部MRI/MRA、CT/CTAと診療情報等を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人が直接特定できないようにします。

提供方法：直接手渡し、郵送・宅配、電子的配信（データ送付時にパスワードによるロックを行う）

（委託機関に試料・情報の提供を行う場合）

MR-proAMの測定のため、以下の委託機関に血漿を提供します。提供する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人を直接特定できないようにします。

委託機関名：サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社

提供方法：宅配

【利用期間】

研究許可日より2028年3月31日までの間（予定）

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：脳神経内科 医長 服部頼都

研究内容の問い合わせ担当者：脳神経内科 医長 服部頼都

電話 06-6170-1070（代表）（内線 60316）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

---

【バイオバンクでの試料・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした試料や診療情報等には特定の個人を直ちに識別できないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

電話：06-6170-1070（内線 21050）

Eメール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp

2025 年 12 月 3 日

当院で脳卒中の外来・入院診療を受けた患者さん・ご家族様へ

### 研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などはいりません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのこと意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

#### 【対象となる方】

2012 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの間に、脳神経内科または脳血管内科で脳梗塞(一過性脳虚血発作を含む)、脳出血、頭頸部動脈狭窄・閉塞症、くも膜下出血、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、静脈洞血栓症、もやもや病あるいは、その疑いの診断で入院、外来受診され、診断や治療を受けられた方

【研究課題名】 血管内皮を標的とした脳卒中、血管性認知障害の予防・治療法の探索

【研究責任者】 国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長 服部 頼都

【研究の目的】 脳梗塞の病態機序の追求、新規治療法の開発

#### 【利用する診療情報】

通常診療内：

- ① 共通項目：年齢、性別、生年月、発症日時、身長・体重・腹囲、内服薬、血圧、modified Rankin Scale (mRS)、NIH Stroke Scale (NIHSS)、既往症、喫煙・飲酒歴、家族歴、認知機能、血管内皮機能。
- ② 脳梗塞：診断、先行する一過性脳虚血発作の有無、CHADS2 スコア、画像診断、行った治療、入院中合併症
- ③ 一過性脳虚血発作(TIA)：回数、自覚症状、ABCD2 スコア、発症機序、画像診断、行った治療、入院中合併症
- ④ 脳出血：診断、画像診断、行った治療、入院中合併症

- ⑤ くも膜下出血：Hunt & Kosnik grade, 画像診断, 行った治療
- ⑥ 無症候性頭頸部動脈狭窄・閉塞症：画像診断, 行った治療
- ⑦ 血球計数検査(白血球数, 赤血球数, 血小板数), 血液生化学的検査(Na, K, Cl, カルシウム, マグネシウム, 総蛋白, アルブミン, AST, ALT,  $\gamma$ GTP, CRP, 尿素窒素, 血清クレアチニン, 尿酸, 総コレステロール, LDL コレステロール, HDL コレステロール, トリグリセリド, 脳性ナトリウム利尿ペプチド), 血液凝固検査(PT, APTT, D-dimer)
- ⑧ 頭頸部画像：MRI/MRA、CT/CTA、 $^{15}\text{O}$  ガス PET、頸動脈エコー

通常診療外：

SIRT1、eNOS、Lp(a)、APOA-1、APOB、血漿レスベラトロール血中濃度、レスベラトロールの代謝産物 3-O-glucuronide・4-O-glucuronide・3-O-sulfate 血中濃度、酸化ストレス度、総抗酸化能、APOE 遺伝子多型、アルブミン-アミロイド $\beta$ 複合体、MR-proADM

【試料・情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【研究の実施体制】

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長 服部頼都

共同研究機関・研究責任者

- ・東和薬品株式会社事業開発部 部長 立木秀尚
- ・名古屋工業大学 医用生体工学研究室 教授 中村匡徳
- ・国立病院機構紫香楽病院 薬剤科長 服部雄司（2024 年 1 月 30 日まで）
- ・Turku 大学（フィンランド）Turku PET センター 教授飯田秀博

【外部機関への研究データの提供】

上記の診療情報を、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

- ・ 共同研究機関及び研究責任者

東和薬品株式会社 事業開発部 部長 立木秀尚 ほか

名古屋工業大学 医用生体工学研究室 教授 中村匡徳

【研究期間】研究許可日より2028年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学

術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト (<https://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経内科 担当医師 服部 頼都  
電話 06-6170-1070(代表)